

ボランティア活動に必要な備品について

- 現在の活動場所は、仮設住宅の集会場が主な場所ですが集会場がないところもあり、近隣の公民館で行なうこともあります。鍼灸マッサージボランティアでは、基本的に集会場などにある備品を使わせていただくことはありません。ボランティアは自己完結が基本ですから自分で使う備品はすべて持ち込み、持ち帰ります。
- 施術に必要な備品一紹介します。消耗品（治療の鍼やお灸など）の目安は、1日の活動で施術する人数は場所により異なりますが大体10人～15人です（鍼灸治療を全ての方が希望するわけではありませんが準備しておくことは必要です）。その他、宿泊セットが必要です。通常2泊3日での活動ですから着替えやアメニティーグッズなど（宿泊場所により就寝着が必要です）日数分必要です。



リュックサック
75cm × 35cm × 30cm

ショルダーバック
57cm × 35cm × 32cm



①エアーマット

183cm × 68cm × 5cm

②エアーマットシーツ(綿)

③フェースマクラタオル

④エア一足枕2個

⑤エア一胸当て

⑥低反発-胸マクラ

⑦タオル

⑧胸マクラ用タオル

⑨手ぬぐい(マッサージ用)

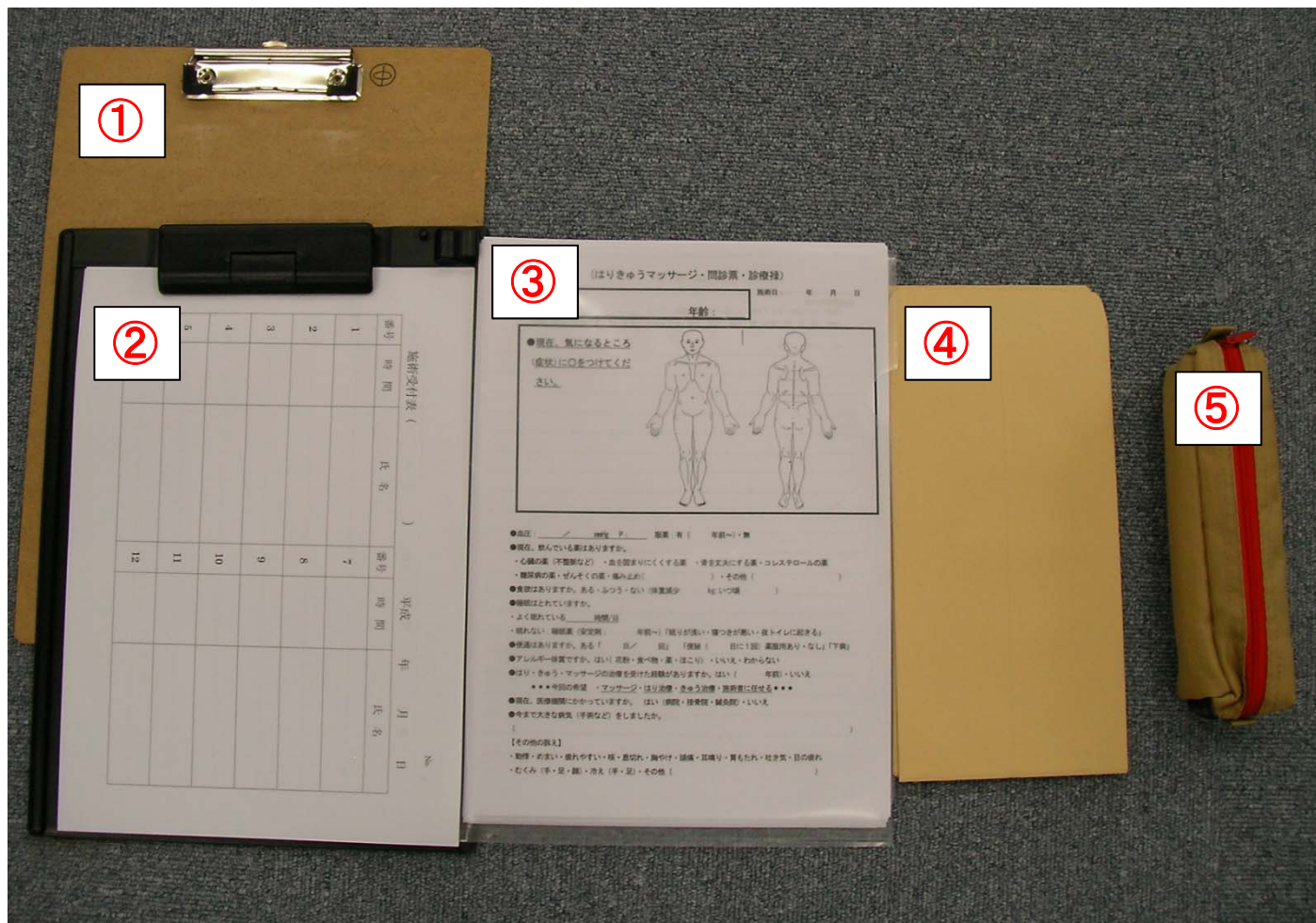
⑩バスタオル

⑪上半身用フリース

⑫上半身用フリース2枚



- ①低周波治療器②灸頭鍼用艾③お椀灸④温暖(お椀灸用)⑤捻り艾・線香・紫雲膏
 ⑥せんねん灸⑦筒灸⑧ライター⑨セイリン寸3-1⑩セイリン寸6-2
 ⑪セイリンL2寸-3・L寸6-3⑫速乾消毒液⑬ディスプレイザブルフェイスパーパ
 ⑭お灸灰入れ⑮廃鍼入れ⑯アルコール綿



①A4クリップボード3個②受付表③問診票④A4用封筒⑤筆記用具